

第1回農林公共事業評価審議会  
事後評価 No.1

# 農業農村整備事業 経営体育成基盤整備事業

ふ ま  
府馬地区

香取農業事務所

# 経営体育成基盤整備事業とは

## 1 事業の目的

ほ場の区画拡大・汎用化により

- (1) 担い手の育成
- (2) 生産コストの低減

を図る。さらに土地利用型農業を確立し、地域農業の振興を図る。

## 2 採択要件

- (1) 受益面積が概ね20ha以上
- (2) 区画整理により形成される30a以上の区画が  
受益面積の2/3以上
- (3) 担い手農地利用集積率を50%以上に向上すること。

# 地区の概要

**事業目的**：香取市南部に位置し、一級河川利根川水系黒部川上流域に展開する低平地水田地帯である本地区は、小区画の水田と狭小な道路、用排水路兼用の浅い水路が、農地の流動化や後継者の育成を阻害していた。基盤整備を実施することで、集積促進と営農組織及び個人担い手を育成し、土地利用の効率化・生産性の向上により経営の近代化を図り、安定的な生産体系を確立するものである。

**事業主体**：千葉県

**関係市**：香取市

**受益面積**：163.7ha

**総事業費**：2,894,827千円

**工期**：平成21年～令和元年（10年間）

**主要工事**：整地工：A=163.7ha（水田）

道路工：L=14.0km

用水路工：L=16.5km（パイプライン）

排水路工：L=16.2km（U字溝及びB型柵渠）

暗渠排水工：A=160.9ha

**負担区分**：国50% 県30% 市10% 地元10%

# 位置図





# 主要工事① 整地工

平成22年(整備前)

平成30年(整備後)



1区画10a



30~50a

# 主要工事② 用水路工

## 主な用水源

○香取市東部用水  
(黒部川)

③ 反復利用

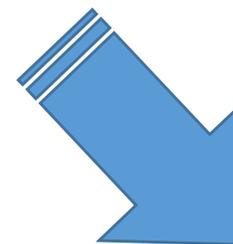
取水

- ・ 用水供給に必要な揚水機場を3箇所整備
  - ・ 田越しをパイプライン化
- ⇒ 用水供給の効率化

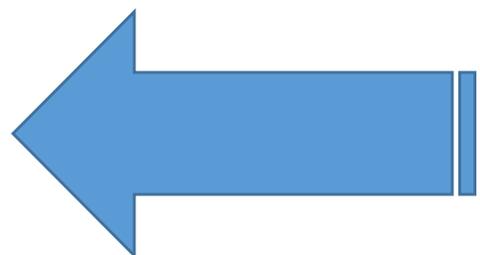


揚水機場

① パイプラインで  
各ほ場へ



給水栓



② 排水路へ



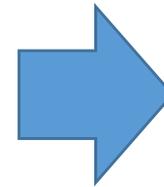
排水路

# 主要工事③ 排水路工・道路工

## 排水路工

- ・田越しや木柵水路を  
コンクリート水路に整備  
(写真は幹線排水路)  
⇒排水改良

整備前



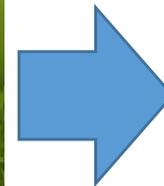
整備後 (B型柵渠)



## 道路工

- ・道路を拡張、砂利舗装  
⇒大型機械の導入に  
よる農作業の効率化

整備前 (B=2.5m)



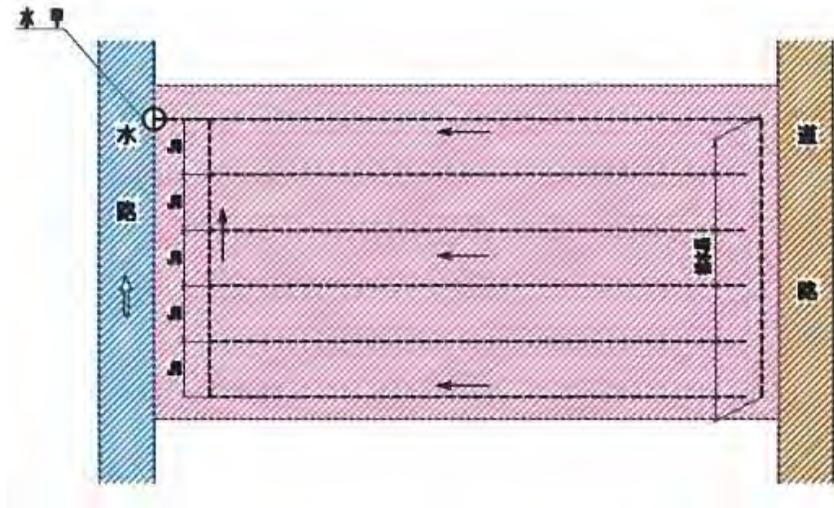
整備後 (B=5.0m)



# 主要工事④

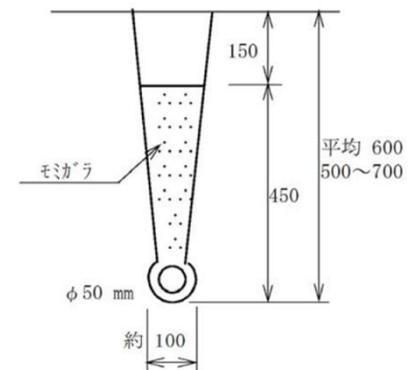
# 暗渠排水工

標準区画割図



暗渠排水の整備  
⇒水はけが良くなり、農業  
機械の作業性を向上

吸水渠（ドレンレイヤー）



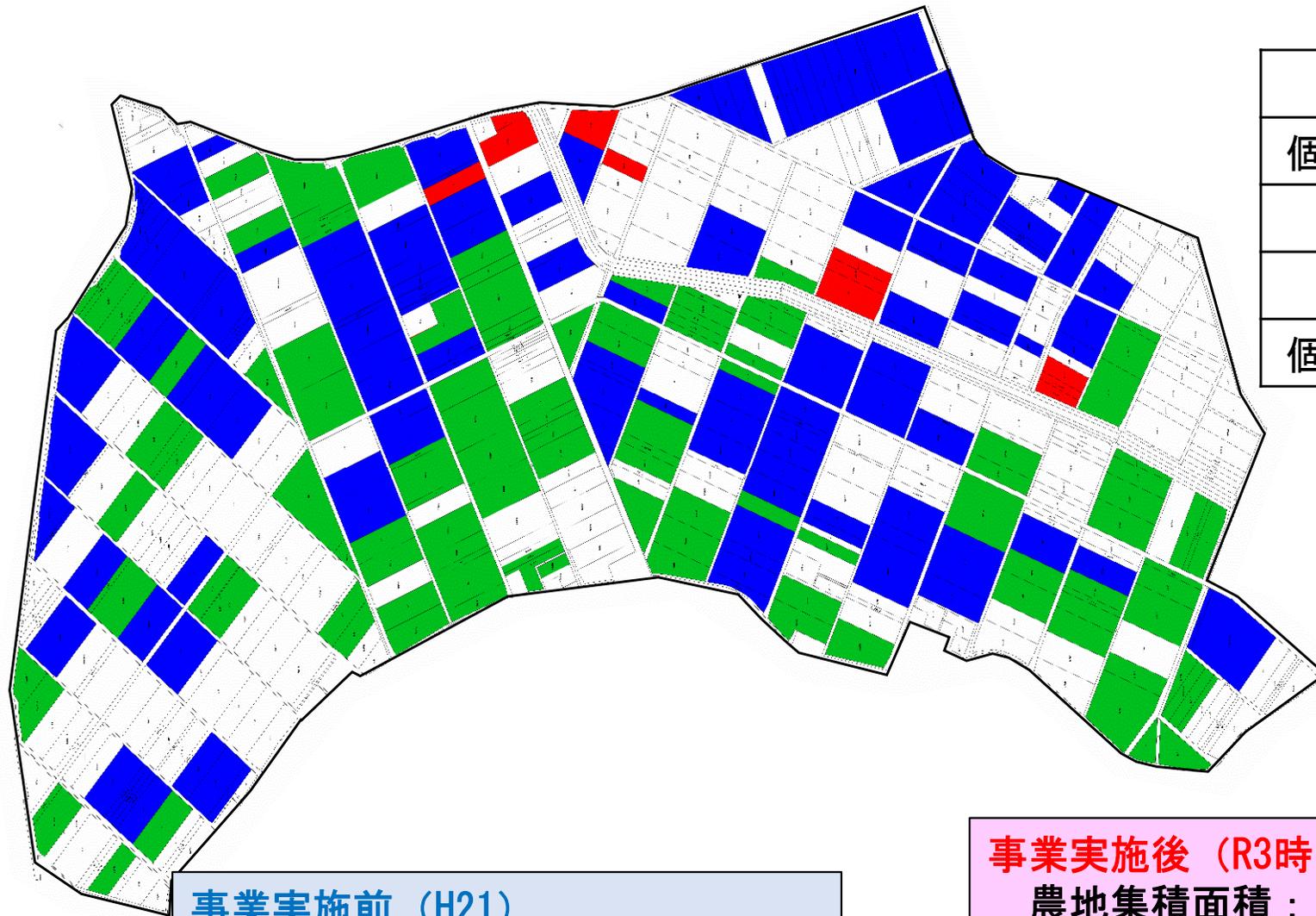
整備前



整備後



# 担い手農地利用集積状況図



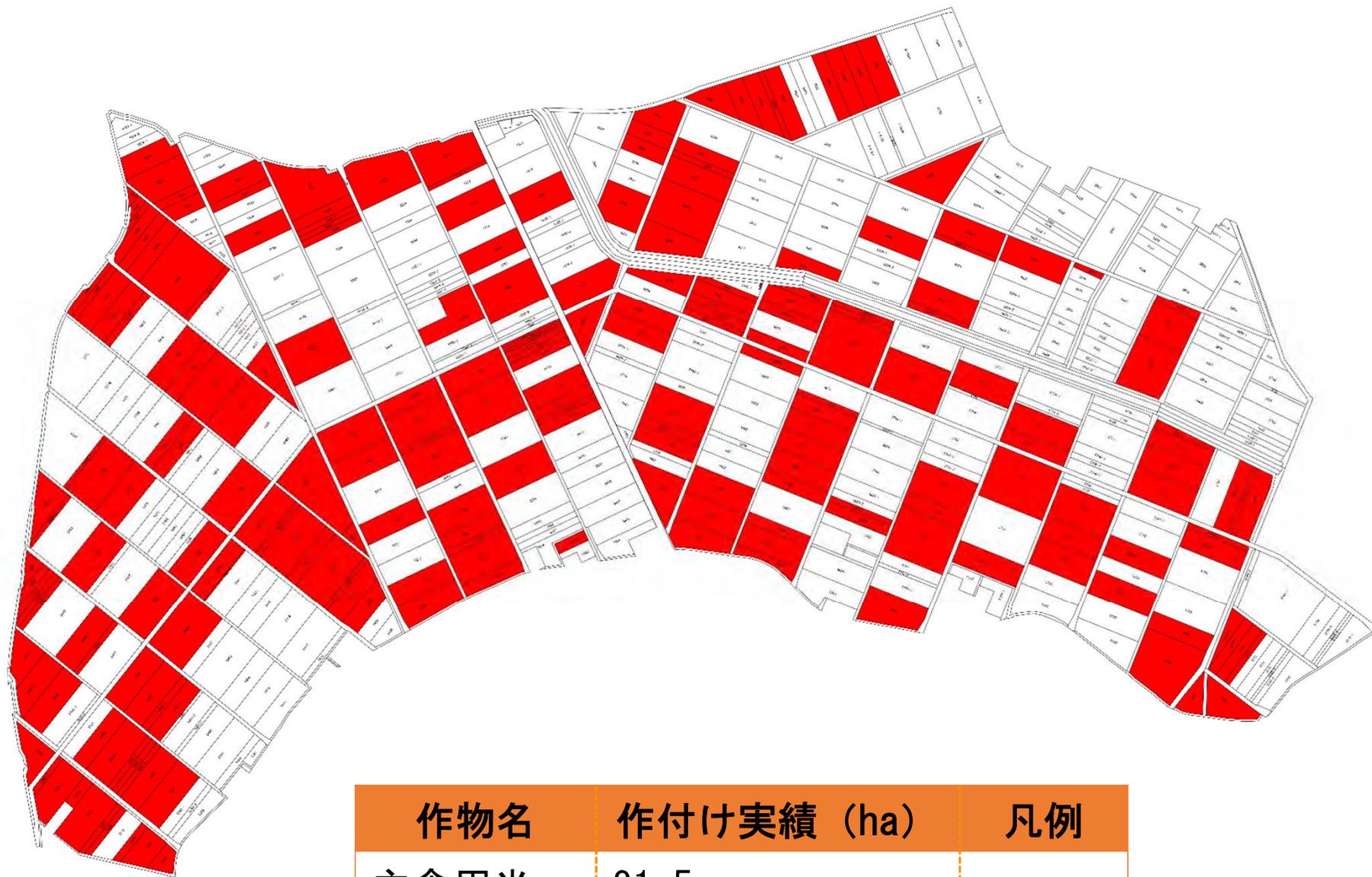
凡例	
個人(15名)	Blue
法人A	Green
法人B	Red
個人農家等	White

**事業実施前 (H21)**  
農地集積面積 : 27.93ha  
農地集積率 : 16.6 %  
地区の担い手 : 11 (10戸+1法人)



**事業実施後 (R3時点)**  
農地集積面積 : 102.68ha  
うち個人 : 55.59ha  
うち組織 : 47.09ha  
農地集積率 : 62.7%  
地区の担い手 : 17 (15戸+2法人)

# 地区内作付状況（飼料用米）

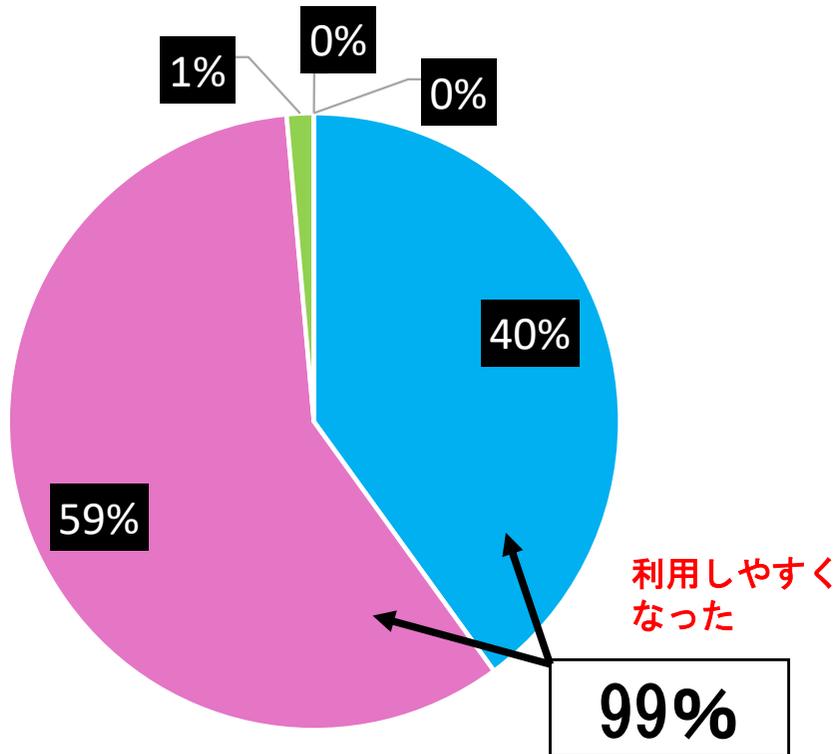


作物名	作付け実績 (ha)	凡例
主食用米	81.5	
飼料用米	78.9	

# アンケート調査結果①

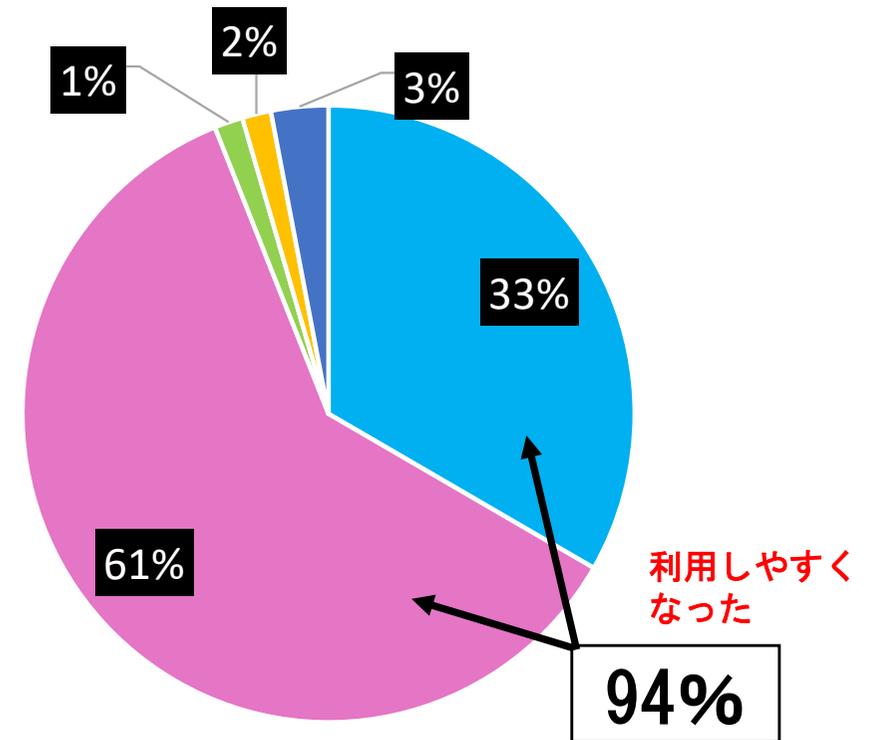
配布者数：77名（耕作者）  
回答者数：73名（回収率94.8%）  
アンケート期間：令和5年7月～8月

## 道路の利用具合



- 非常に利用しやすくなった
- 利用しやすくなった
- 以前と変わらない
- 以前と比べて利用しづらくなった
- 以前と比べて非常に利用しづらくなった

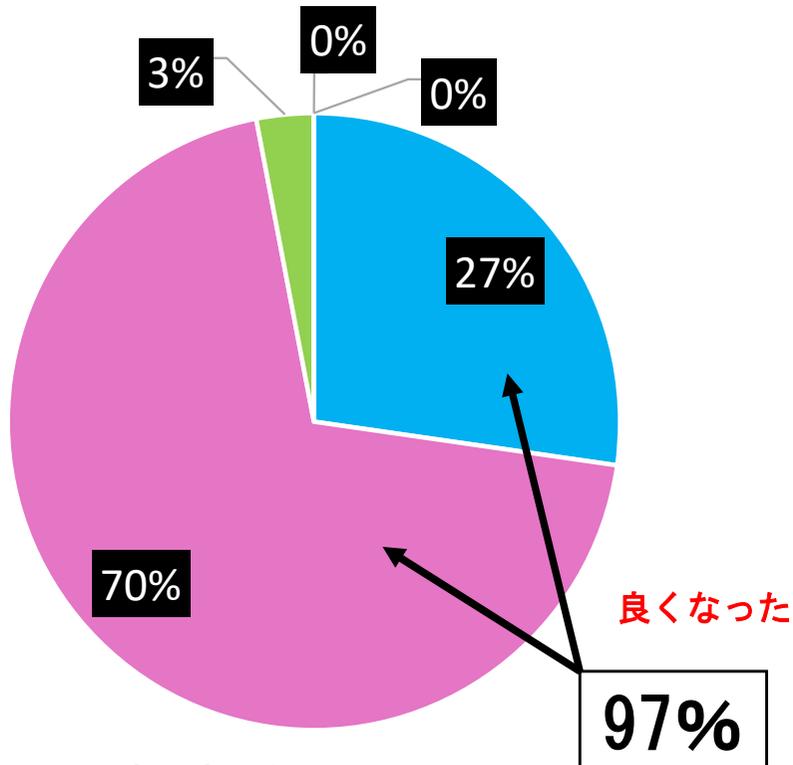
## 用水の利用具合



- 非常に利用しやすくなった
- 利用しやすくなった
- 以前と変わらない
- 以前と比べて利用しづらくなった
- 以前と比べて非常に利用しづらくなった

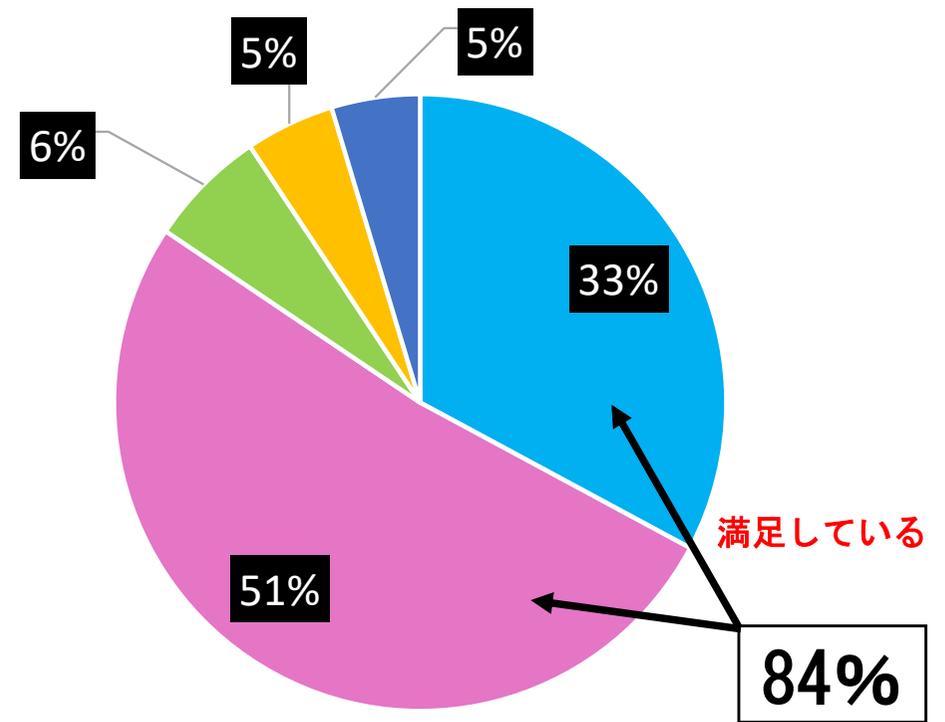
# アンケート調査結果②

排水状況について



- 非常に良くなった
- 良くなった
- 以前と変わらない
- 以前と比べて悪くなった
- 以前と比べて非常に悪くなった

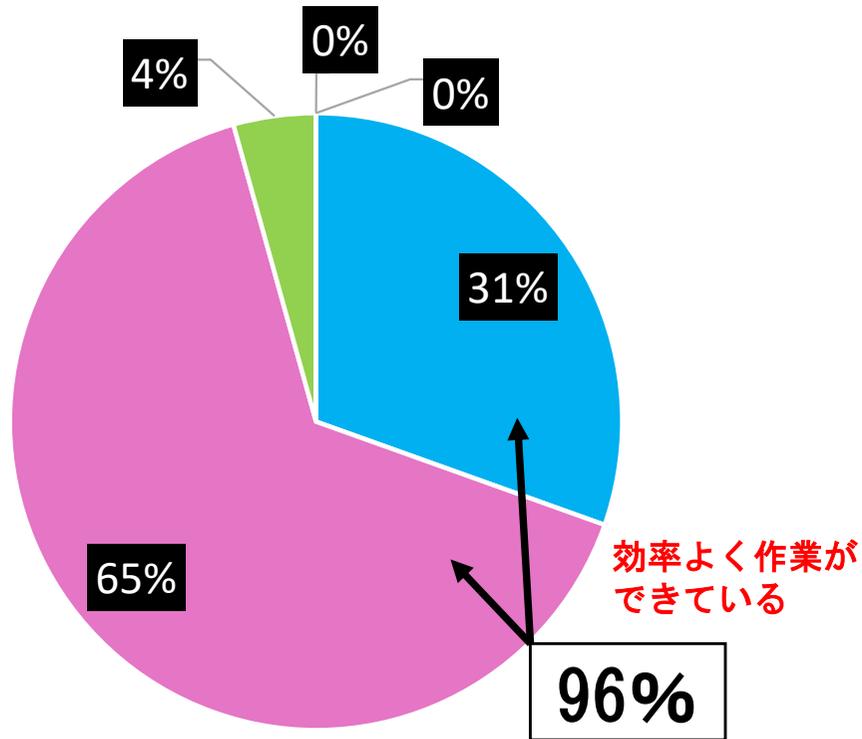
暗渠排水の効き具合



- 田んぼの水はけがよくなり非常に満足している
- 水はけがよくなりまあまあ満足している
- 以前と変わらない
- 水はけが改善されずやや不満である
- 水はけが改善されず非常に不満である

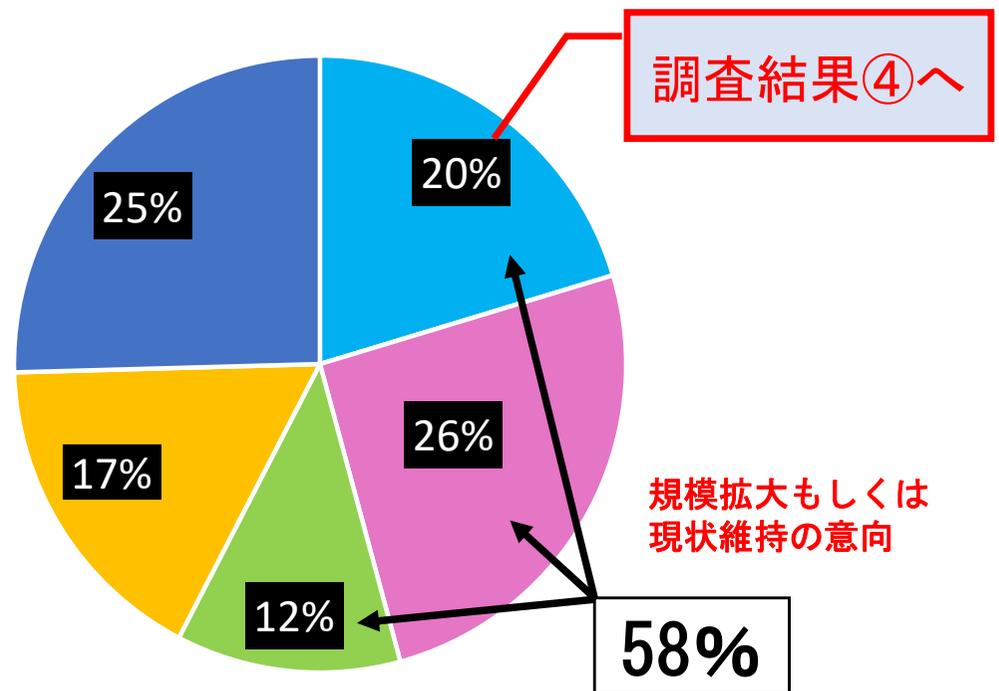
# アンケート調査結果③

農作業全体の作業効率



- 非常に効率よく作業ができています
- 効率よく作業ができています
- 以前と変わらない
- 以前と比べて効率が悪くなった
- 以前と比べて非常に効率が悪くなった

10年後の経営について



- 現状より規模拡大していきたい
- 現状の経営規模を続けたい
- 後継者に経営移譲したい
- 現状より縮小したい (法人や担い手に貸したい)
- 営農をやめたい

# アンケート調査結果④ (10年後に規模拡大の意向)

※60代は後継者の回答なし2名含む

年代	40代	50代	60代	70代	合計
人数	1	5	5	1	12人
後継者あり	1	3	1	1	6人
後継者なし	0	2	2	0	4人

約50ha  
に拡大意向

1名 約50ha  
に拡大意向

1名 約30ha  
に拡大意向

1名 約20ha  
に拡大意向

1名 約20ha  
に拡大意向  
(地区外法人)

約25ha以上  
に拡大意向

参考：  
拡大後面積合計 195ha

# アンケート調査結果⑤

## 事業を契機に導入されたスマート農機や新技術

### 1. 事業を契機とした新技術の導入

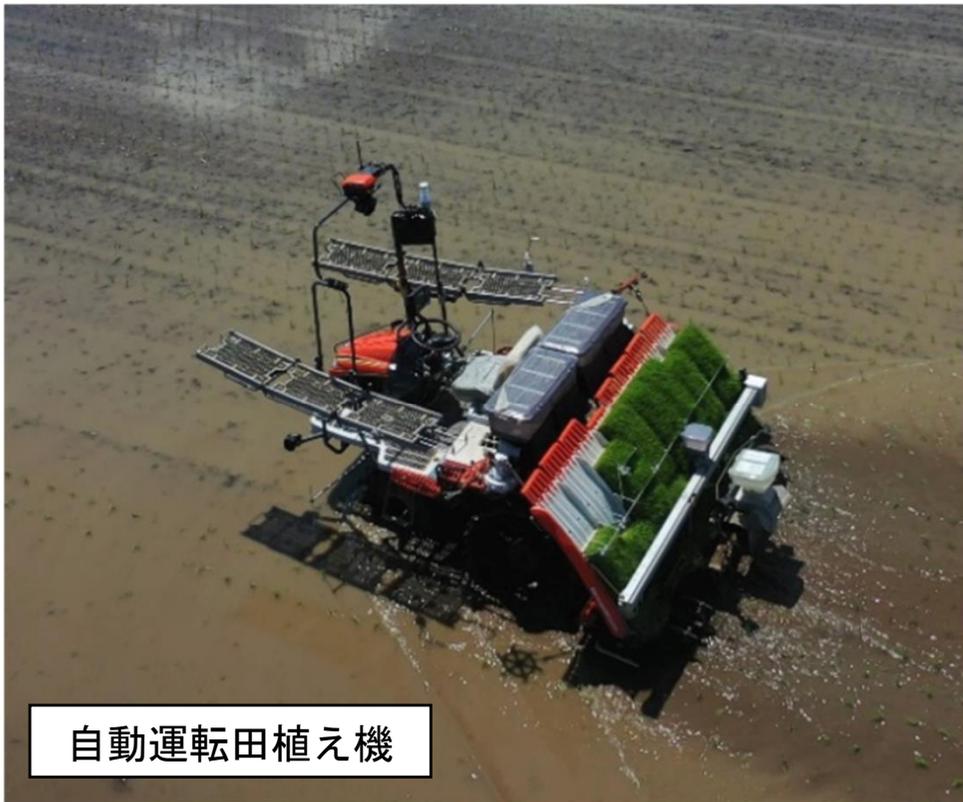
- ・ 直播栽培
- ・ 高密度播種栽培

導入しているのは  
個人 1名  
(地区内担い手)

### 2. 事業を契機としたスマート農機導入

- ・ 直進アシスト田植え機
- ・ 自動運転田植え機、  
自動運転トラクター
- ・ コンバインのスマート農業技術

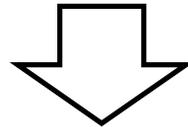
導入しているのは  
法人 2組織  
個人 3名  
(地区内担い手含む)



自動運転田植え機

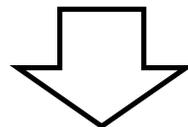
# アンケート結果（まとめ）

- ①規模拡大の意向がある地区内のみならず、地区外の大規模農家が当地区で耕作している。



規模拡大にあたっては、効率的な営農が可能となる基盤整備された農地が求められており、当事業により規模拡大が可能となっている。

- ②事業を契機とし、新技術やスマート農機を導入している担い手がいる。



省力化することにより、経営の安定化や今後の労働力不足に対応。

# 多面的機能支払い交付金の活動



令和元年度から多面的機能支払交付金の活動を行っており、農業者を中心に農地の維持管理をすることで担い手農家の負担軽減が図られています。

令和3年度からは植栽による景観形成活動を地域共同で行い、地域住民（非農業者）との交流や地域の景観の向上を積極的に図っています。



# 判定表（面工事に関する事業）

	事後評価の項目	事業評価指標の判定基準					満点	得点方式	判定	得点	備考 <small>(評価項目の判定は、実施地区を基本とするが、統計資料を使用する場合は旧市町村の最小単位を根拠とする)</small>		
		区分	A	B	C	D						E	
		評価(X)	+2	+1	+0.4	-1						-2	
1 整備された施設管理状況	①施設の利活用	利用状況 《農家アンケート》	2.0~1.5以上	1.5未満~0.5以上	0.5未満~ -0.5以上	-0.5未満~ -1.5以上	-1.5未満~ -2.0	10	(X+2)×2.50	B	8.08	1.2(アンケート加重平均)	
		維持管理状況 《管理者ヒアリング》	2.0~1.5以上	1.5未満~0.5以上	0.5未満~ -0.5以上	-0.5未満~ -1.5以上	-1.5未満~ -2.0	6	(X+2)×1.50	B	4.50	1.0(管理者ヒアリング)	
	②施設の管理	維持管理費  (過去5か年の人件費・修繕費の平均値/計画時維持管理費) 《管理者ヒアリング》	90%未満	90以上~95未満	95以上~105未満	105以上~110未満	110%以上	6	(X+2)×1.50	C	3.60	(実)3,188千円/(計)3,244千円=98% (直近5年間の平均維持管理費)	
小計							22			16.18			
2 事業効果の発現状況	①政策面の評価	政策面	認定農業者増加率	100%以上	100未満~50以上	50未満~30以上	30未満~10以上	10%未満	3	(X+2)×0.75	A	3.00	1→16(法人2組織、個人担い手14戸(1600%))
			担い手農地集積率	40%以上	40未満~30以上	30未満~20以上	20未満~10以上	10%未満	3	(X+2)×0.75	A	3.00	102.7ha/163.7ha=62.7%
			耕地利用率	140%以上	140未満~120以上	120未満~100以上	100未満~80以上	80%未満	3	(X+2)×0.75	C	1.80	160.4ha/160.4ha=100%
			農地集団化率	100%以上	100未満~80以上	80未満~60以上	60未満~40以上	40%未満	3	(X+2)×0.75	B	2.25	(従前の団地数-換地後の団地数) /(従前の団地数-地区内の耕作者数) ((2030-368)/(2030-109))=86.5%
									(12)		(10.05)		
		工事面	10a当たり事業費	90%未満	90以上~100未満	100以上~110未満	110以上~120未満	120%以上	2	(X+2)×0.5	B	1.50	(実)2,239千円/(計)2,359千円=95%
	工事期間		予定工期で完了	予定工期+1年	予定工期+2年	予定工期+3年	予定工期+4年以上	2	(X+2)×0.5	E	0.00	(実)10年(計)5年	
	農業面	大区画率	25%以上	25未満~20以上	20未満~15以上	15未満~10以上	10%未満	3	(X+2)×0.75	E	0.00	1ha以上の区画なし	
		工事内容	90%以上	90未満~75以上	75未満~60以上	60未満~45以上	45%未満	8	(X+2)×2.00	B	6.00	妥当工種数/全工種数 4/5=80%	
									(15)		(7.50)		
		作付け計画の実現状況	150%以上	150未満~112以上	112未満~87以上	87未満~50以上	50%未満	6	(X+2)×1.50	C	3.60	(実)160.4ha/(計)160.4ha=100%	
	②総費用総便益比	総費用総便益比	農業生産・経営向上効果等	2.0以上	2.0未満~1.5以上	1.5未満~1.0以上	1.0未満~0.5以上	0.5未満	20	(X+2)×5.0	C	12.00	総便益額① 7,239,326千円 総費用② 6,731,416千円 当該事業費 4,881,910千円 その他事業費 1,849,506千円 総費用総便益比①/② 1.07
適正事業費率			90%以上	90未満~75以上	75未満~60以上	60未満~45以上	45%未満	10	(X+2)×2.50	B	7.50	2,473,316千円/2,869,115千円=86.2%	
小計							(21)		(12.60)				
							(48)		(30.15)				
3 総合評価	合計						78			49.65			
							100			65.83	A		

80点以上:「AAA」 事業計画以上の効果が得られた。  
 70点以上:「AA」 事業計画どおりの効果が得られた。  
 60点以上:「A」 概ね事業計画どおりの効果が得られた。  
 60点未満:「F」 事業計画どおりの効果が得られなかった。

# 事後評価表

年度	番号	事業区分	地区名	所在地	事業費	工期	受益面積
R5		経営体育成基盤整備事業	府馬	香取市	2,894,827千円	H21～R1	163.7ha
項目		評価指標		基準	判定	コメント	
1 事業により整備された施設の管理状況		①施設の利活用 ≪農家アンケート結果≫  ②施設の管理 ≪管理者ヒアリング≫ 維持管理状況、維持管理費		22	16.175	①耕作者77名を対象にアンケートを実施(73名から回答)したところ、結果は概ね良好となった。  ②管理者の香取市東部土地改良区からは、維持管理、施設の操作について、不具合ない旨回答を得ている。	
2 事業効果の発現状況		(1)政策面の評価等  ①政策面の評価 認定農業者増加率、担い手農地集積率、耕地利用率、農地集団化率  ②工事面の評価 10a当たり事業費、工事期間、大区画率、工事内容の妥当性  ③農業面の評価 作付け計画の実現状況、担い手育成状況		48	30.15	①本事業の実施により、農作業の低コスト化が図られ、個人担い手15名と2営農組織に農地集積が進み、農地集積率は62.7%となった。  ②本事業により、区画拡大が図られたものの、大区画率が(1ha以上)が低い。  ③主食用米、飼料用米を作付け、計画の実現状況は100%となっている。	
		(2)総費用総便益比等  ①総費用総便益比(費用対効果) 農業生産効果 経営向上効果 等  ②適正事業費率の検証				30	19.5
		小 計		78	49.65		
3 総合評価		合 計		100	65.825		

# 地区調書

番号	事業区分	地区名	所在地	事業費	工期	受益面積	受益者数	特記事項	総合評価																										
	経営体育成基盤整備事業	府馬	香取市	千円 2,894,827	H21～R1	ha 163.7	人 346		A																										
(1) 事業の概要	事業の背景			主要工事等		関連事業（令和5年10月現在）																													
	①自然的社会条件	②水利条件	③事業実施の経過	整地工	A=163.7ha (田163.7ha)	用水路工	L=16.5km	排水路工	L=16.2km																										
	香取市東部に位置し、黒部川上流域に展開する低平な水田地帯である。水路は用排水兼用の土水路であり、農道も幅員が狭く、未整備のものが多く。	用水源は、黒部川から取水している東部用水区域が大半を占め、一部中川揚水機場により供給されているが、絶対量が少なく農家単位で反復水を利用している。	区画整理によりほ場を標準30a区画として、道路、用排水路が整備されたことにより、大型機械を使った効率的な大規模営農体系により低コスト化を可能とした。	道路工	L=14.0km	暗渠排水工	A=160.9ha	県営かんがい排水事業（香取市東部地区）																											
(2)社会経済情勢の変化(地域社会の動向・地域経済状況)(当初事業評価年度と事後評価年度の比較)					(3)事業により整備された施設の利用・管理状況																														
1 社会情勢の変化			2 地域農業の動向		主要施設概況	用水路 : L=16.5km (パイプライン)																													
人口、世帯数			(単位:ha、戸、人、ha/戸)			用水機場 : N=3箇所																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年</th> <th>令和2年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>82,866</td> <td>72,356</td> </tr> <tr> <td>世帯数</td> <td>27,309</td> <td>27,572</td> </tr> </tbody> </table>				平成22年	令和2年	人口	82,866	72,356	世帯数	27,309	27,572	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年</th> <th>令和2年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耕地面積</td> <td>9,267</td> <td>7,960</td> </tr> <tr> <td>農家戸数</td> <td>4,196</td> <td>3,285</td> </tr> <tr> <td>農業就業人口</td> <td>18,711</td> <td>6,700</td> </tr> <tr> <td>経営面積</td> <td>8,865</td> <td>7,960</td> </tr> <tr> <td>認定農業者数</td> <td>241</td> <td>348</td> </tr> </tbody> </table>			平成22年	令和2年	耕地面積	9,267	7,960	農家戸数	4,196	3,285	農業就業人口	18,711	6,700	経営面積	8,865	7,960	認定農業者数	241	348	排水路 : L=16.2km (U字溝及びB型柵渠)			
	平成22年	令和2年																																	
人口	82,866	72,356																																	
世帯数	27,309	27,572																																	
	平成22年	令和2年																																	
耕地面積	9,267	7,960																																	
農家戸数	4,196	3,285																																	
農業就業人口	18,711	6,700																																	
経営面積	8,865	7,960																																	
認定農業者数	241	348																																	
農業就業人口					河川改修 : L=0.6km																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年</th> <th>令和2年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1次産業</td> <td>4,779</td> <td>3,719</td> </tr> <tr> <td>第2次産業</td> <td>9,346</td> <td>8,123</td> </tr> <tr> <td>第3次産業</td> <td>24,535</td> <td>22,130</td> </tr> </tbody> </table>				平成22年	令和2年	第1次産業	4,779	3,719	第2次産業	9,346	8,123	第3次産業	24,535	22,130	香取市の耕地面積は減少傾向にある。農家戸数及び農業就業人口は減少し、認定農業者は増加している。		道路 : L=14.0km (碎石舗装)																		
	平成22年	令和2年																																	
第1次産業	4,779	3,719																																	
第2次産業	9,346	8,123																																	
第3次産業	24,535	22,130																																	
人口については、減少傾向にある。また、産業別就業人口についても、総人口と同様に減少傾向にある。					暗渠排水 : A=160.9ha																														
					利用・管理状況																														
					香取市東部土地改良区及び香取市により適切に管理・運用されている。																														
					問題・改善等																														
					電気代等の高騰により機場の維持管理費が増加傾向となっている。																														
(4)	産地化の状況(営農計画達成状況) 単位ha				効果発現状況等(政策・工事・農業面)		波及的・公益的・多面的効果及び事業実施による環境の変化																												
事業効果の発現状況等		事業前	最終計画	完了(R1)	現況(R4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施により農道が整備され、大型の運搬車両及び農業機械の導入により作業効率が大幅に改善された。</li> <li>・用水では、揚水機場やパイプラインの整備による用水供給の効率化が図られ、水管理の省力化につながった。</li> <li>・排水では、土水路からU字溝や柵渠による護岸や暗渠排水の施工による排水改善が図られた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的機能支払交付金を活用した農地の維持管理を行うことにより農業者の負担軽減を図るとともに、植栽による景観形成活動を地域共同で行うことで、地域住民との交流や農業への理解の醸成及び地域の景観の向上を図っている。</li> </ul>																											
	田	161.9	96.0		81.5																														
	水稲																																		
飼料用米	-	64.4		78.9																															
畑	0.1	0.0		0.0																															
(5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手への農地集積が進み、大規模水稲栽培が行われているが、今後は担い手への農地の貸し付けがさらに進むことが予想され、また法人を含めて担い手の多くは高齢者であり、受け手となる担い手の後継者育成や、雇用体制の整備が課題である。</li> <li>・スマート農業技術等を活用し、さらなる省力化を図り、農地の集約化を進めることが課題である。</li> </ul>						備考																												

# 事後評価結果

事業名	経営体育成基盤整備事業	地区名	府馬地区
着工年度	平成21年度	関係市町村	香取市
事業完了年度	令和元年度	事業主体名	千葉県
〔事業内容〕			
1 受益面積	163.7ha		
2 事業費	2,894,827千円		
3 工期	平成21年～令和元年(10年間)		
4 事業量	整地工 : A = 163.7ha (水田) 道路工 : L = 14.0km 用水路工 : L = 16.5km (パイプライン) 排水路工 : L = 16.2km (U字溝及びB型柵渠) 暗渠排水工 : A = 160.9ha		
内部評価結果	<p>事業の実施により、ほ場の区画拡大と併せて用排水路、暗渠排水及び道路が整備され、大型農業機械の導入による農作業の低コスト化を図ることができた。</p> <p>現状でも個人担い手15名と農業法人2組織へ農地集積が進んでいるが、担い手も高齢者が多い状況である。そのため、将来も地区内で大規模に営農する意向のある農業法人と個人担い手への集積を地域計画を通じて進める方針である。</p> <p>また、スマート農業への移行を進め省力化を図ることで、将来の営農を見据えた持続的な経営の維持を図る必要がある。</p> <p>以上より、本地区は【A】概ね事業計画どおりの効果が得られている。</p>		